

京ことばの正確な理解を目的としたコミュニケーション支援アプリの開発

Development of a communication support application for accurate understanding of *Kyo-kotoba*

藤井 奏[†], 林 侑輝[†]

Kanade Fujii, Yuki Hayashi

[†] 米子工業高等専門学校

National Institute of Technology, Yonago College

概要

京都独自の言語文化である京ことばは、京都に馴染みのない観光客などにはその真意が伝わりにくいと考えられる。本稿では、京ことばを分かりやすい表現にし、京ことばの持つ意味を補足することで京ことばの理解及び円滑なコミュニケーションを支援し、更に補足情報も付加することで京ことばへの理解を深めることを目的としたアプリケーションの開発について述べる。

キーワード：京ことばの正確な理解, 京ことば文化の保存, コミュニケーション支援, 婉曲表現, 多文化共生

1. 背景

京都は、東京や大阪に並んで日本を代表する観光地であり、年間通して多くの観光客が訪れる(官公庁, 2024)。

京都独自の言語文化である京ことばには婉曲表現が多く含まれているのが特徴であり、その真意を正しく理解することは日本人であっても京都に馴染みがなければ難しいのではないかと考える。これによりコミュニケーションが成り立たずトラブルに発展する場合や、何を言われたのか分からず遺恨を残す場合がある。そうなってしまうと、折角の観光も楽しめなくなる。

また近年、方言という文化全体の変容・衰退が進んでいる。少子高齢化や人口流出に伴う話者コミュニティの縮小、グローバル化の影響で方言という文化が変化している(羽場, 2025)(ことばマガジン, 2019)。そのため、伝統的な京ことばの保存は重要であると考えられる。

筆者らはこの問題を解決し、尚且つ観光客に京都をさらに深く知ってもらおう手助けをしたいと考え、アプリケーション開発という形で目的の実現を図る。

2. 京ことばの起源

2.1 京ことばとは

京ことばとは、京都で用いられる日本語の方言であり、その成り立ちには京都の長い歴史が深く関わって

いる。京ことばの起源には、大きく2つがある。

1つは、天皇の住まいであった京都御所内で、主に宮中に仕える女官たちが用いた「御所ことば」である。これは「女房ことば」とも呼ばれ、言葉の頭に「お」を付けて丁寧さを示す「おひや(水)」「おしたじ(醤油)」や、語尾に「もじ」を付けて表現を婉曲にする「すもじ(寿司)」など、優雅で洗練された言葉遣いを特徴とする。

もう1つは、御所の外で暮らす商人や職人、一般庶民が日常的に用いた「町方ことば」である。職業や居住地域によって細かく分化しており、非常に多様性に富んでいる。例として、呉服問屋が軒を連ねた室町界隈の商家で話された「中京ことば」、西陣織の職人たちが使った「職人ことば」、そして祇園などの花街で芸舞妓たちが用いる「花街ことば」などが存在していた。

これら2つのことばは、常に独立していたわけではない。特に室町時代以降、町衆が御所に品物を納めるなどして頻繁に出入りするようになると、両者の交流が活発化し、文化の融合が進んだ。庶民は宮中の優雅な言葉遣いを真似ることでその文化に近づこうとし、一方で宮中にも町方の言葉が流入した。この長年にわたる融合のプロセスを経て、上品さと親しみやすさを併せ持つ現在の京ことばが形成されたのである(Domani, 2023)(レンタル着物 岡本, 2024)(佐藤, 2010)。

2.2 京ことば (*Kyo-kotoba*) と諸方言 (dialects) との違い

京ことばと他の方言との大きな違いとして、単なる音韻や語彙の違いだけでなく、歴史的地位とそれに基づく話者の自己認識が挙げられる。京都の人々は自らの言葉を「京都弁」ではなく、「京ことば」と表現することを好む。これは、明治維新で首都機能が東京へ移るまで、千年以上にわたり京ことばが日本の事実上の「標準語」であったことに由来する。多くの方言がそれぞれの「地方の言葉」であるのに対し、京ことばは「かつての中央語」という特別なアイデンティティ

を持っていると言える(千賀, 2023)。

また、文化的影響力の非対称性も大きな違いである。京ことばは歴史的に他地域へ影響を与える側の言語であった。このように、特に宮中で使われた「御所ことば」は、後世の日本語全体に大きな影響を及ぼしており、現代の標準語として定着している「おでん」「おこわ」「おむすび」「おひや」「おまわりさん」といった言葉も御所ことばに由来する。全国共通の語彙の中にその痕跡を色濃く残している点は、他の方言には見られない大きな特徴と言える(レンタル着物 岡本, 2024)(李 巖, 2010)。

さらに、言語の洗練度においても質的な違いが見られる。軽い敬意を表す「動詞+(て)はる」は主に関西で使われているが、京都では目上の人物だけでなく、家族や同輩、さらには動物や植物、無生物にまで親しみを込めて使われる。これは特定の相手への敬意を超え、周囲の世界全般に対する丁寧で柔らかな姿勢が言語化したものであり、他の方言の敬語体系とは大きく違う。こうした歴史的背景と文化的影響力、そして都の複雑な社会で磨かれた言語機能が、京ことばとほかの方言との違いを生み出している(藤月, 1999)(レファレンス共同データベース, 2019)。

2.3 本研究で対象とする京ことばの一覧

本研究をするにあたり、対象とする京ことばのリストを作成することにした。その際(藤月, 1999)をベースとし、更に補足するのに(マル, 2025)を参考にした。そこから今回の趣旨とずれるものを除外したり文献に記載されている意味を「意味」と「補足」に分けるなど調整した。そうして作成したのが表1に示す「京ことばリスト」である(藤月, 1999)(マル, 2025)。

3. 京ことばの伝わりづらさ

京ことばが、馴染みの薄い者に伝わりづらいとされる原因は、単語やアクセントの違い以上に、京ことばのもつ、言葉の文字通りの意味だけを捉えては話者の意図を理解することが難しいという特性にあると考える。以下の問題は標準語でも見られる問題だが、京ことばにおいてはより顕著であると予想する。

第1に、「婉曲表現」が含まれていることが挙げられる。言葉の表面的な意味と話者の真意が一致しないこの話法は、対立を避けて社会的な調和を重んじる京都の文化から生まれたもので、相手を傷つけないための配慮でもある。例えば、子供の騒ぎ声に「元気でよろしいなあ」と声をかけるのは、直接「うるさい」と指摘するのを避けるための作法である。このような文化は歴史や文化背景から生まれたとされており、「長

い歴史の中で幾度も権力者の交代を経験した先人たちの、「本音と建前」を使い分ける暮らしの知恵」だと言われている(佐藤, 2010)(ラルフ, 2025)(千賀, 2023)。

第2に、「多義性」を持つことが挙げられる。例えば「おおきに」は、「ありがとう」のように感謝を示す言葉で使われる一方、誘いを断る際の「結構です」という否定のニュアンスも持つ。同様に、「考えておきます」という返答は、事実上の「お断りします」を意味することが多い。これらの言葉の真意を汲み取るには、前後の文脈や相手の表情、声のトーンといった非言語的な情報に大きく依存するため、馴染みの薄い者には判断が極めて難しい(秋山, 2025)(千賀, 2023)。

第3に、その独特の「いけず」な皮肉のニュアンスが、言葉そのものではなくイントネーションやリズムに由来している点である。斎藤は、標準語の文とそれを京ことばに直した文を文字で提示された場合平板で直接的な標準語の方が冷たく響くことから皮肉に感じられたが、同様の文を音声で提示されると京ことばの方がより強く皮肉に感じられたということ報告している(斎藤, 2024)。これは、京ことばのイントネーションや語尾の独特なニュアンスが皮肉っぽさを強調することを示唆している。

4. 開発するアプリの概要

本研究では前章までに述べた問題の解決するべく、テキストから検出した京ことばを分かりやすい表現にし、更にその言葉の持つ意味やこの言葉の成り立ち・背景などの情報を表示するアプリを開発する。具体的には既存の翻訳アプリのように、入力された文を読み手が理解できる表現にし、そこに補足情報を付け加えて表示するという流れである。

また、標準語を京ことばにする機能も搭載する予定である。この機能の目的は2点あり、1点目は文化の保存である。方言という文化全体が変容・衰退しつつある今、伝統的な京ことばという文化を保存しておくことは重要だと考えている。2点目は、非母語話者への学習支援である。例えば留学生向けの学習教材において、京ことばや方言に関するレクチャーは十分に行われていない(佐藤, 2020)。そのためこれらについての学習支援は必要であると考えている。なお、これらの処理には対象となる表現を学習させたAIを使用する予定である。

5. 実験の概要

本研究では2つの実験を予定している。1つ目は、「京ことばの真意を正しく理解することは、京都に馴染みがない日本人にとって難しいのではないか」とい

表1 作成した京ことばリストの一部

京ことば	読み仮名	意味	補足情報
明い	あかい	明るいさま。	元々「あかるい」は東日本語で、京都を含む西日本では「あかい」が普通だったが、共通語の普及により「明るい」が主流となった。
あかん	あかん	ダメなこと。役に立たないこと。	江戸時代からの言葉で、「埒（らち）があかぬ」という表現が短縮されたものとされる。
上ル	あがる	北へ行くこと。	京都の街が基盤の目状であることに由来する。北側に天皇の住まいであった御所があったため、御所に向かうことを「上る」と表現した。京都の住所表記で「○○通△△上る」と記されるのはこのためである。対義語は「下る（さがる）」。
あじない	あじない	味がおいしくないさま。「まずい」よりは語感が柔らかい。	古語の「味気無し（あぢきなし）」に由来する言葉。道理に合わない、つまらないといった意味も持つ古語が、味覚の表現に転用されたもの。
味も - しゃしゃりも - ない	あじも - しゃしゃりも - ない	「味気ない」を強調した言い方。	「味がない」と、愛想がないことを意味する「素っ気ない」が混ざった表現「味も素っ気もない」の変形。「しゃしゃり」は詳細不明だが、味の深みや面白みを指す言葉と考えられる。
飴さん	あめさん	飴の丁寧な言い方。	京都では事物に親しみを込めて「さん」付けする傾向がある。大阪では「飴ちゃん」と「ちゃん付け」するのと対照的である。これは自然や事物にも敬意を払う美化語の一種。
あも	あも	お餅のこと。	宮中に仕える女官が使った「女房言葉」で、「餅」を意味する言葉が由来。京都のお餅は普通丸い形をしている。
あらくたい	あらくたい	乱雑、乱暴なこと。荒い。荒っぽい。	「荒っぽい」を意味する古い言葉。不快感・嫌悪感を伴っていることが多い。「あらくない」はこれよりやや柔らかい表現。
あらくない	あらくない	取扱いが乱暴なこと。	「あらくたい」よりやや柔らかい表現。
あらかる	あらかる	1. 開きがある。2. 火をかき広げる。	年齢差がある場合に「歳があらかる」のように用いることがある。
歪む	いがむ	「ゆがむ」の訛り。	「鮎（あい）」と同様、京ことばの音韻的特徴であるユ→イ転訛の一例。
いきどしい	いきどしい	息苦しい。	古語の「憤り（いきどほり）」に由来し、元は心が晴れない、鬱々しいという意味合いが強かった。

う仮説の検証である。具体的な内容としては、京ことばに馴染みがない学生を対象に京ことばが含まれた文を提示し、その文から受け取るニュアンスや雰囲気、使用されている京ことば及び文全体の意味を問うアンケートを実施する。ここで得られたデータを活用し、アプリケーション開発に導入する。

2つ目は、開発したアプリの効果を検証する実験である。具体的な内容としては、京ことばに馴染みのない本校の学生を対象に、まず京ことばが主体の短文を読んでもらい、直感的に文の意味が理解できるかどうか、文の意味や受け取るニュアンスや雰囲気などをアンケート形式で尋ねる。次に、開発したアプリを用いて標準語にした文を読んでもらい、先ほどと同じ内容に加え、自然な言い換えに感じたか、文全体に違和感を感じるかを尋ねる。

2つの実験で使用する京ことばの例文とアンケートの項目を以下に示す。

- 例文: もっさい格好やなあ。
- Q1. この例文における「もっさい」の意味を教えてください。(自由記述)
- Q2. この例文における話者の真意を考え、教えてください。(自由記述)
- Q3. この例文からどんな印象を受けましたか。(最もポジティブを10、最もネガティブを1とした10段階評価)

6. 将来的な展望

日本語には、話者の意図が正確に伝わりづらくなる原因がいくつか存在する。例えば今回取り上げた京ことばにも含まれる「ご遠慮ください」や「結構です」といった婉曲表現や、標準語との乖離が大きい方言である。この影響は現実における会話ではもちろん、SNSなどのテキストベースのコミュニケーションにも見られ、誤解を招く表現を用いることにより口論などに発展しやすい。これはSNSにおいてより顕著で、身振り手振りや口調からも言葉の真意を判断できる現実場面とは異なり、SNSは投稿されたテキストのみで言葉の真意を判断しなければならないためだと考えられる。そのため、SNSユーザーを対象とした情報リテラシーの向上は不可欠であるといえる。このような問題に対し筆者らの開発するアプリは、投稿予定の文に対して、誤解を招くことが予想される表現を検知し補足情報を提案することで、トラブルを未然に防げるのではないかと考える。

また、介護場面においては若年者・高齢者間の表現の違いによるコミュニケーションの問題が存在してい

る。高齢者の話す独特の表現が若年者に伝わらなかったり、反対に若年者の略語・新語が高齢者に伝わらなかったりする場合もある。高野は、「学生は高齢者の使う言葉を理解できないと否定的な情緒状態が強くなり、コミュニケーションスキルの低下に関連していた」と報告している(高野, 2020)。このような異なる世代間でのコミュニケーションについても支援が必要であると考えられる。このような問題に対し開発するアプリは、入力された文から相手に伝わらない可能性のある表現を検出し、より伝わりやすい表現を提案することが可能と考える。

文献

- 秋山 香織 (2025). 【専門家監修】京都弁とは別物? 「おおきに」「ほんなり」など、京ことばの特徴と例文一覧. 2025年6月12日付. <https://www.fun-japan.jp/jp/articles/14126>
- Domani (2023). 「京ことば」にはどんな特徴がある? 京都人が使う言葉を解説. 2023年5月5日付. <https://domani.shogakukan.co.jp/828882>
- 藤月 (1999). 京都言葉・語彙. 1999年11月付. <https://www.akenotsuki.com/kyookotoba/goi/#a>
- 藤月 (1999). 1-10. 待遇表現～敬語と侮蔑語. 1999年11月1日付. <https://www.akenotsuki.com/kyookotoba/bumpoo/keigo.html>
- 羽場 雅希 (2025). 日本の言語遺産が消える? 方言・消滅危機言語の現状と保存の取り組み. 2025年3月28日付. <https://www.educational-lounge.com/?p=12284>
- 観光庁 (2024). 宿泊旅行統計調査 (2023年・年間値 (速報)). <https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001725314.pdf>
- ことばマガジン (2019). 方言コスプレ、新方言、ネオ方言… 平成になって復権した理由とは?. 2019年4月9日付. <https://withnews.jp/article/f0190409001q0000000000000000W05h10101qq000018925A>
- マル (2025). どれくらい分かる? 京都人がよく使う京ことば40選. 2025年7月8日参照. <https://www.plus1-one.co.jp/wa/events/kyokotoba40/>
- ラルフ (2025). 京都弁の皮肉・遠回しの悪口一覧 | 実は怖い? 京都特有の嫌味とその意味徹底解説. 2025年4月11日付. <https://baja-bluet.com/list-of-sarcasm-in-kyoto-dialect/>
- レファレンス共同データベース (2019). 京都の方言「してはる」等、方言が敬語として使われている例はほかにあるか. 2019年12月26日付. https://crd.ndl.go.jp/reference/entry/reference/show?fi=2.8&id=1000271610&ldtl=1&mcmd=25&page=ref_view&type=reference
- レンタル着物 岡本 (2024). 雅な世界で育まれた【京ことば】. 2024年1月25日付. <https://www.okamoto-kimono.com/column/4117>
- 李 峻命 (2010). 【歴史考察】現代にも残る御所言葉. <https://ameblo.jp/hosoyatakaragi/entry-10741977243.html>
- 斎藤 あいか (2024). 方言が聞き手に与える印象の変化—京ことばと標準語の皮肉—. 人文学部学生論文集, 23, 210-217.
- 佐藤 孝一 (2020). 日本語教科書を利用した方言教材開発の可能性—肥筑方言のカ語尾形容詞の場合—. 日本大学大学院総合社会情報研究科紀要, 21, 49-59.
- 佐藤 理菜子 (2010). 第三十回 京ことば. 2010年9月付. <https://www.keihan.co.jp/navi/kyoto.tsu/tsu201010.html>
- 千賀 佳織 (2023). 「おこしやす」≠「おいでやす」!? 奥深い京ことばの謎. 2023年8月10日付. <https://plus.kyoto.travel/entry/kyokotoba>
- 高野 真由美 (2020). 看護学生と高齢者との世代差言語とコミュニケーションへの影響. 日本館語学教育学会誌, 30(2), 49-59.